

「釧路市職員 CSR 通信」では、地域活動に参加されている職員の体験記や、職員の参加が可能な活動などをご紹介します。

CSR の再確認

CSR とは、一般的に企業の社会的責任と解されています。企業の CSR の取組については、法令や倫理規範の遵守、顧客への適切な情報開示、環境保全活動などといったことを実践し、顧客の信頼度をより高め、企業として地域や社会全体に様々な形で貢献していくこととされ、企業が持つ特徴により様々な活動が実践されています。

私たちは、地域住民のために働く地方公務員であり、CSR を果たすことは当然ですが、あらためて**全体の奉仕者**としての基本に立ち返り、責任と役割について再認識する機会となるよう、2008 年（平成 20 年）に「**釧路市職員の社会・環境等活動（CSR）推進指針**」を定めています。※指針はファイル管理に掲載しています。『CSR（全角）』で検索して下さい。

私たち地方公務員は、市民と協働するまちづくりを進めているなか、職員自身がより積極的に地域活動に参加することが求められています。

地域活動に参加されている職員の体験記

軟式野球の審判として地域活動に参加されている福祉部社会援護課の河口さんにインタビューしました。

Q 活動内容について

A 北海道軟式野球連盟釧路支部審判員として、連盟主管の大会で審判を行っています。連盟では学童から社会人まで多くの大会を実施しており、シーズン中の土日祝日は、ほぼ毎週管内どこかの球場で試合が行われ、特別な用事がない限り全日審判業に勤しんでいます。平日も朝やナイターでの試合を交代で担当しており、多いときは年間百試合を超える試合で審判を行っています。

Q 地域活動に参加したきっかけ

A 自分の子どもが小学校の野球チームに入った時、当時のコーチが知人であったことから練習を手伝うようになり、その後コーチとして少年野球に携わっていました。コーチを辞め、子どもが手を離れた頃に審判員としてオファーを受け、もう一度少年野球に違う形で携わるのも良いかなと思い、審判部に入りました。最初は少年野球だけと思っていたのですが、今は社会人まで全てを受け持っています。

Q 活動を通して印象に残ったこと

A 少年野球に携わっていたことから、子どもたちの成長を見られることが、やって良かったと思うところです。コーチの時は自分のチームしか見られませんが、審判だと分け隔てなく子どもたちを見られ、また、すべての年代で審判をするので、小学校、中学校、高校、大学、社会人とステップアップしていく様子をみる事が出来た時は感慨深いものがあります。



今後の活動の目標

A 子どもたちに野球を身近に感じてもらうために、ティーボール体験会を実施するなど、野球普及活動なども行っているのですが、より多くの方に野球を楽しんでもらいたいと思っています。また、審判員の高齢化や人員不足にもなってきているため、審判員の養成にも力を入れていきたいので、市職員の審判員登録については是非ともよろしくお願いします。

ぜひ町内会に加入しましょう！



町内会とは地域住民の皆さんが互いに協力し、支え合いながら、住みよいまちづくりと地域貢献活動に取り組んでいる自治組織です。職員の皆さんも地域住民の一員として是非、町内会に加入しましょう。

防犯灯や街路灯の 維持管理

街路灯の設置、管理、
電気料金の支払いも町
内会費で負担

環境美化活動

道路・公園・町内な
どを、きれいに保つ清
掃活動

健康づくり・福祉活動

ラジオ体操や、一人暮らしの高齢者の見守り活動の実施



町内会

防災活動

自然災害に備えて地域の特性を考えた防災訓練や防災研修の開催

その他

市役所から生活に必要な情報を提供、盆踊りなどの町内会行事

回覧板



環境美化活動・ゴミ拾いの様子



健康づくりや福祉活動・ラジオ体操の様子

町内会は地域貢献活動のみならず、職員の皆さんの仕事面にも大きなメリットがあります。町内会を通して市民の方々と交流する機会が増えることで、仕事での連携がはかどりスムーズな業務遂行に繋がります。他にも、市の職員が市民にとって身近な存在となることで、困りごとや要望を市政に反映させやすい環境を作ることができます。

市民が豊かで健康的な生活を送れる釧路市を実現するためにも、職員の皆さんが率先して町内会に加入しましょう。

町内会加入申し込みについて

町内会の加入については、Logo フォームから申し込みできます。



(Logo フォーム QR コード)